

平成28年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「北陸の視座」編集・発刊事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画部
事業名 (大項目)	国土の利用・整備・保全に関する資料等収集整理事業	分類名 (中項目)	資料収集・編纂事業			事業区分	調査、資料収集

1. 事業目的

本事業は以下の目的を達成するために発刊する。

- ① 北陸地域の社会資本整備や地域づくりに関連する、新たな視点や考え方、地域住民にとって参考となる情報を広く提供し、戦略策定や事業の推進に寄与する。
- ② 北陸地域の社会資本整備や地域づくり活動に関わる人々の交流と連携を促進する場として、産・官・学・民のネットワークの形成・強化・拡大を推進する。
- ③ 北陸地域の活性化戦略の推進に向けて、影響力を持つ内外の Opiniオンリーダー層との情報交換・連携強化の場をつくる。
- ④ 誌面を通じて北陸地域の活性化戦略を構築し、その実現に向けての地域内世論の形成と、中央(中央官庁・政府等)への発信を行う。

2. 事業実施体制

- ・ 専門家・有識者による助言・提言
- ・ 調査・資料収集(直営)
- ・ 記録/誌面作成補助、印刷等(委託)

3. 事業実施概要

- ◆ vol.30
 - ・ 2,600部発行し関係機関及び会員に配布
 - ・ 当会ホームページに掲載
- ◆ vol.31
 - ・ 平成29年2月15日に実施した「明日の地域を考える講演会」での提言を元に「日本の危機と社会資本政策のイノベーション～新たな拠点としての道の駅の役割と期待～」をテーマに編集し、関連データを収集し整理した。
 - ・ 特集1は「日本の危機と社会資本政策のイノベーション」をテーマに、石田東生氏(筑波大学教授)の提言を元に整理した。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

全国的な課題に関する情勢や動向および旬な話題を踏まえ、北陸地域の現状をデータで把握、比較ができるレポートとして配布先関係機関から高い評価を得ている。
 地域の実情を客観的に整理し発信することで、地域の課題が明確化し、適切な取り組みが実現するとともに、それに関わる人々の参画意識の高揚などが期待できる。

vol.30誌面

1. 特集1 新たな視点と視点・北陸の役割
 日本が直面する「5つの危機感」
 対流促進型国土の形成を目指して
 新潟・北陸への期待と役割は大きい

2-1
 新たな国土形成計画
 対流すべきは住民と個人
 相互交流で地域資源を活かすつ、
 ネットワークを強化する取組が必要だ。

2-2
 クロージング・ネットワークを担う新潟・北陸
 まずは北東アジアとの対流を活性化して
 アジア・ユーラシアへのゲートウェイを目指す。

種別	発行部数	発行単価	発行総額
紙面	4,000部	250円	1,000,000円
印刷	2,600部	120円	316,000円
送料	1,000部	100円	100,000円
編集費	1,000部	80円	80,000円
その他	1,000部	200円	200,000円
合計	10,000部	1,000円	10,000,000円

vol.30HP掲載

「北陸の視座」が北陸の明日を築いてい。

◆ 特集1 新たな視点と視点・北陸の役割

◆ 2-1 新たな国土形成計画

◆ 2-2 クロージング・ネットワークを担う新潟・北陸

訪日外国人旅行者(インバウンド)市場の現状

1 「新たな国土形成計画」を読む

2 「訪日外国人旅行者(インバウンド)市場の現状」